

つながりと未来

~HLAB Summer School に参加して~

—

2年7組 堀内 京香



はじめに

私は夏休みの8月13～15日の5日間、オンラインで行われたHLAB Summer School 2021 Obuseに参加させていただきました。夏休み前に本校でHLAB Schoolの説明会が行われました。そこで大学生と話をさせていただき、私の話すことに肯定の意見だけでなく全く違う方向からの意見を提案されたことで、もっと沢山の大学生・社会人と話したいと思ったのが今回参加した理由です。また元々リベラルアーツの大学に興味があり、HLABではリベラルアーツの環境を提供しているということにも魅力でした。

HLABで体験したこと

Summer Schoolでは開催地である小布施の体験、大学生・社会人との交流、セミナーと呼ばれる英語での授業を3種類、自己分析企画など5日間で盛り沢山の日程でした。またSummer SchoolではHOUSEと呼ばれる大学生徒2,3人、高校生2,3人で組まれたグループで毎晩リフレクション(1日の振り返りや自由なことを話す時間)が設けられ、HOUSEのメンバーとはとても仲良くなれました。

学んだこと

参加して1番感じたことは、人が一番の財産だということです。3日目に小口良平さんという自転車で8年半かけて世界一周を成功させた、教科書に出てくるような方のお話を聞かせていただきました。小口さん自身、8年半の旅で一番助けられたのはお金でもなく訪れた国の現地の方々だったとおっしゃっていました。世界一周を諦めてしまいそうになった時、日本で応援してくれた人や今まで旅の途中で手を貸してくれた方のことを思い出し、15万キロという長い旅を終えることができたそうです。小口さんのお話だけでなく、私自身も今回Summer Schoolで出会った大学生・社会人の方々に背中を押してもらいました。私が株やFX、Bitcoinに興味があるというと、Bitcoinトレーダーの大学生が練習用のコインをくれ、今ではBitcoinのチャートを見るのが日課になっています。また、教育格差や発展途上国の教育を実際に見にいきたいと話すと、カンボジアでボランティアのある大学生が彼が活動していた小学校の校長先生を紹介してくれると言ってくれました。こんな人とのつながりの中で自分を応援してくれる人と出会いを大切に、今周りにいる方々への感謝を忘れず過ごそうと改めて思いました。

これからどう生かしたいか

Summer Schoolでは沢山の強い思いを持った学生が集まります。特に大学生は5つも歳は離れないのに信念を持って活動している人が沢山いました。彼らに刺激を受けたのと同時に、負けていられないとも思いました。そこでやはり大事になるのは自分から行動することだと思います。5日間、興味のある分野で活躍している大学生・社会人の方に自分からアプローチしました。そして自分は何に興味があり、相手に何を聞きたいか、を簡潔に伝えました。それでも答えてほしかったような返答が返ってくることは少なかったです。でもさらに深掘ることで相手との関係を縮められた気がします。受け身で話だけを聞くことは誰でもできます。でもその人とのコミュニケーションでさらに多くのことを話してもらえることが多いです。どんなチャンスも逃さずに、コミュニケーション・アプローチ・伝え方を工夫して、これからも様々な個性をもった人と話をできたらと考えています。

最後に

人とのつながりは財産です。HLABで出会った人とはまだ誰も直接会ったことはありません。しかし5日間でお互い大切な存在となりました。最終日の修了式では寂しさで涙があふれてしまいました。ですがHLABは通過点です。誰もがここから自分の”やりたい”にまっすぐ進み、それを叶えられるよう、この5日間があったと思います。

HOUSEのメンバーとは1月にリユニオンします。私はその時みんなに自分がやってきたことを自信を持って話せるよう、今を一步ずつ踏んでいきます。

また、今回オンラインという形態で行われた今回のSummer Schoolでしたが、オンラインだからこそ国外・県外の人とつながることができました。今回HLABを紹介してくださった先生、小布施の方々、参加者。全ての出会いとご協力に感謝しています。ありがとうございました。